



翔鶴祭を終えて

日増しに寒さが増してきました。体調を崩したりはしていませんか。
10月29日には、翔鶴祭（合唱祭）がありました。1組も2組も自分たちの合唱を作ろうと意欲的に取り組み、当日は緊張と不安の中、すばらしいクラス合唱を作りあげました。また、クラスの仲間と共に練習に励み、ひとつの目標に向かい、ひとつの歌声を作りあげることで、大きな感動や達成感を味わうこともできたのではないのでしょうか。学年合唱『翼をください』でも、2学年全体の底力をみせてくれました。ますます来年、3年生で迎える翔鶴祭が楽しみになってきました。
翔鶴祭の取り組みを通して、クラスの「絆」がより深まったかと思います。また、翔鶴祭という大きな行事を通して、クラスや学年全体が大きく成長したはずです。今後の活動でも、各クラスや2学年の良さを発揮していきましょう。
次は、翔鶴祭で身につけた「目標に向かって立ち向かう姿勢」を今月末の第3回定期テストにつなげてほしいと思います。大きな行事が一段落した中でもう一度学習について振り返り、来年度の受験も意識した雰囲気を作っていきましょう。

第3回定期テスト近づく！ 万全な体調管理を！

第3回定期テスト（11月26日・27日に実施）が近づいてきました。テスト勉強は順調に進んでいるのでしょうか？ 昨年のこの第3回定期テストでは、インフルエンザなどが流行し、テスト当日に受験できなかった人が多数、出てしまいました。
体力には大きく分けて2つの種類があります。1つは「行動体力」。もう1つは「防衛体力」です。行動体力とは、体を動かすための力。日常生活で立つ・歩くなどの動作をスムーズに行う体力を指します。防衛体力とは、病気やストレスに負けない身体の抵抗力のことです。免疫力や回復力に関わる重要な体力です。来年迎える高校受験では「受験日に体調を崩さない体力（防衛体力）」も必要です。体調管理をしっかりと行い、テスト当日を迎えられるようにしましょう。

<学習サポートについて>

- ・今回の学習サポートは、25日（社会・国語）と26日（英語・数学・理科）に行われます。
- ・帰りの会終了後30分程度の予定です。

トピックス

【美術科】
第一部会図工・美術作品展
・特選 ・入選
佐倉市幼・小・中学校図画・書写作品展
・図画の部特選 ・図画の部入選

【書写】
佐倉市幼・小・中学校図画・書写作品展
・書写の部特選 ・書写の部入選

【社会科】
佐倉学こども作品展
・市長賞 ・佐倉学賞

【ソフトテニス部】
千葉県中学校ソフトテニス大会（選手権大会）個人の部出場

12月の行事予定

1日（月）	全校評議会
3日（水）	書き初め練習会 人権集会
8日（月）	学習のあゆみ（定期テストの結果）配付
9日（火）	生徒委員会
10日（水）	3年生面接指導（1・2年生は一斉下校）
11日（木）	3年生面接指導（1・2年生は一斉下校）
15日（月）	「冬休みのしおり」作成
19日（金）	給食終了 大掃除 ワックスがけ（環境委員）
22日（月）	学年集会 午前中日課（弁当はいりません）
23日（火）	全校集会 午前中日課（弁当はいりません）
24日（水）	冬季休業～1/6（火）

＝日々雑感＝ 「青い鳥」・・・（学年主任より）

翔鶴祭。3年1組の『青い鳥』が最優秀賞を受賞しました。教師生活36年、これまで3年生の学級担任は10回ほど経験してきました。最後の3年生の学級担任は5年前になりますが、この年に我がクラスは、この『青い鳥』を歌いました。このクラスが2年生の時には、優秀賞・指揮者賞・伴奏者賞まで受賞し、まさに「完全制覇」でした。とはいえ、これは学級担任の指導力によるものではなく、優秀なリーダーたちのおかげでした（何しろ楽譜が読めない私です。今年の翔鶴祭でも私の各学年の優勝クラス予想は1/3しか当たらず、音楽的な才能のなさを改めて痛感したのでした）。
そして3年生の秋。我がクラス3年B組の『青い鳥』は順調な仕上がりを見せました。音楽科の先生からも「模範演奏として全校のみんなに聞かせたいくらいです。ホント、いいですよ～」と言われていたくらいでした。ところが、プレッシャーに弱い我がクラス。合唱交換会やリハーサルになると日ごろの力が発揮できない。
「おまえたちが歌う曲は『青い鳥』じゃなくて『ブルーチキン』だ！」
とよく言っていました（チキン=憶病者や腰抜けといった意味の俗語）。合唱コンクールの前日に配布した学級通信にも

明日は合唱コンクール！ 歌うは「青い鳥」。「ブルーチキン」じゃない！

明日は合唱コンクール本番。最優秀賞を目指して歌声委員の〇〇くん・△△さんを中心に頑張ってきました。音楽の授業ではすばらしい合唱を歌うのに合唱交換会やリハーサルでは今ひとつ…。明日は最高の『青い鳥』を羽ばたかせてください。そのために…
①体育館入場前の「声出し」でしっかりウォーミングアップを。
②限界以上の声を出そうとすると汚くなる。仲間を信じろ。
→仲間を信じて自分のベストを出せば良い。でも「誰かが出してくれるだろう」の他人任せにはならないように。
③指揮者に合わせる。
→はじまりの部分のテンポに注意。△△さんから目を離すな！ 全てをゆだねろ！
④□□に最優秀賞のトロフィーを届けてやろうぜ！（□□は、この時入院中の生徒の名前です）

こんなメッセージを載せました。しかし、合唱コンクールの結果は…。念願の最優秀賞はとれずに終わったのでした。

でも卒業式の日のこと。卒業式を終え、教室での最後の学活が終わろうとする時に「先生、最後に私たちの『ブルーチキン』じゃない『青い鳥』を聞いてください」とクラスの生徒が最後に聞かせてくれた『青い鳥』にはやられました。涙ボロボロ、鼻水ジュルジュルでした。
『青い鳥』は、私にとっては思い出深い、大切な1曲です。